

令和元年度 桐生市民活動推進センター事業計画(案)

【施設の役割の認識と管理運営の理念】

- 桐生市民活動推進センターは、営利を目的としない社会貢献活動の推進を図り、もって活力ある地域社会の実現に資することが目的であり、その目的達成のため、市民活動の柔軟な発想により新たな公共サービスの担い手として市内の市民活動を地域発展のために協働させるべく活動する。
- 桐生市民活動推進センターは、利用者や市民に対し、社会貢献活動、ボランティアや市民活動の推進に向けた情報の収集・発信、活動スペースの提供、各種市民活動への呼びかけ、より多くの社会参加への意識を高めていけるような講座・イベントなどの企画。団体相互や人間関係の調整などの高度なコーディネーター力が求められている。そのために多様化するニーズに答え住民サービスの向上を図っていく「市民が主役のまちづくり」のための施設であり、活力ある地域社会の実現に資するためのセンターであるという理念をもって管理運営を行う。

- 1 目標管理への取り組みと効果測定
- 2 サービス向上のための取り組み
- 3 利用者の平等な利用の確保
- 4 施設の安全、安心に向けた維持管理
- 5 危機管理対策
- 6 情報管理
- 7 コスト縮減の取り組み
- 8 ゆいねっとシステムの運用
- 9 その他の取り組み

- 桐生市の総合計画を反映し、施策への協力、地域の自治会、市民活動団体、企業、教育施設との協働を通して目的達成を目指す。また、富岡製糸場の世界遺産登録や2020年に開催予定の東京オリンピック関連で、外国人観光客の来桐が予想されるなか、国際交流課との連携を強化し、幅広くきめ細かいサービスも計りたい。また、これまで17年間、桐生市民活動推進センターを運営し、県内他のセンターからも運営団体の素晴らしさの評価を受けている。これだけ役員らがセンター運営に係り協力してくれるところは他にない。団体・個人会員それぞれの活動を通し、センター利用やセンターのPRも行っている。